



映画上映 泉悦子監督フェア

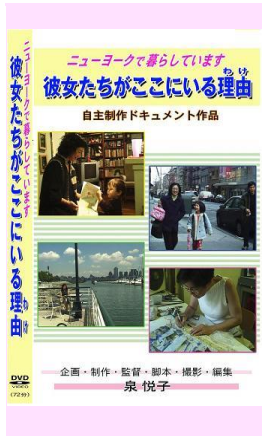
泉悦子（いずみえつこ）のプロフィール

東京都出身、早稲田大学文学部演劇卒。(株)記録映画社を経て独立、100本以上の教育・PR映画の脚本、演出。'87年女性たちで映画誌シネマジャーナル発刊。'98年企業の映画基金でニューヨーク大学映画学科に留学。'01年よりドキュメンタリー映画の自主製作開始。『心理学者 原口鶴子の青春』で'08年山路ふみ子映画賞福祉賞受賞、'11年長編劇映画『エクレールお菓子放浪記』脚本、2014年新作『みんな生きてる 飼い主のいない猫と暮らして』を発表。

日時 2015年6月12日、13日、14日
10:15～12:00
場所 エポック10 研修室 1
定員 30名 参加費 無料

※当日直接会場へおいで下さい(先着順)

6/12
(金)



泉悦子監督 初長編ドキュメンタリー作品 <劇場未公開> (72分)

「ニューヨークで暮らしています 彼女たちがここにいる理由」(2006年)

海外で暮らしても、女性の自立問題は同じ。言葉のハンディの中で奮闘。ニューヨークで演劇、アート、OLをしてみたいと希望する人必見です。彼女たちは30歳過ぎて日本を離れ、NYにわたった。後へひけない。結婚し、子育てに苦悩し、日本にいる老父母の介護にもどり……。30代から60代、世代の違う女性たちの葛藤と奮闘の記録です。この作品で取材した舞台演出家、河原その子さん演出の最新作「デッドリーシーウルフ」(2013年 LaMaMa で公演)がNYTで絶賛され、批評家推薦作品に選出された

6/13
(土)



<2008 山路ふみ子映画賞福祉賞受賞作品> (95分)

「心理学者 原口鶴子の青春

100年前のコロンビア大留学生在が伝えたかったこと」(2007年)

1907年にコロンビア大学へ留学し、5年後の1912年、日本女性初の心理学博士号を取得した原口鶴子。同日、後の早稲田大学教授、原口竹次郎と結婚し、帰国後、母校・日本女子大の教壇に立つも29歳で逝去。平塚雷鳥と同窓。この忘れられ先駆的女性の足跡を残された留学記などをもとに明治女性の力強い生き方をたどった、珠玉のドキュメンタリー

6/14
(日)



「みんな生きてる 飼い主のいない猫と暮らして」(2014年) (91分)

家族のように大切にされる猫と、人知れず生まれ死んでいく野良猫、同じ猫なのにどうして?この疑問から猫のために奔走するボランティア、獣医、行政の人たちをビデオで取材していく。殺処分ゼロのドイツの動物保護施設や猫ボラ、日本と同じ行政が殺処分を行う米ポートランドの行政シェルターやTNR拠点病院も取材。野良猫を環境、地域の問題として捉え動物と生きる楽しさを伝えます。地域猫、TNR、猫ボランティア、猫同志の関係など野良猫情報が満載! 2014年製作 新作ドキュメンタリー 全国好評公開中!

「内容についての問い合わせ先」 豊島・健康と環境を守る会 3915-1612 矢口

★会場についてのお問合せ先★ 豊島区男女平等推進センター (エポック10)

〒171-0021 豊島区西池袋2-37-4 TEL: 03 (5952) 9501 FAX: 03 (5391) 1015

Eメール: A0029117@city.toshima.lg.jp 主催: 豊島・健康と環境を守る会/エポック10フェスタ2015実行委員会